

会 報 <第 32 号> 宮崎県社会教育委員連絡協議会 令和 4 年 12 月発行

ごあいさつ

宮崎県社会教育委員連絡協議会 会長 井崎 高信

寒冷の候 皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

本年度も引き続き、本会の会長を務めさせていただいております。皆様とともに本県の社会教育の充実や生涯学習の振興を目指して取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染拡大が未だ続いておりますが、本会では「社会教育の学びを止めない」という考えのもと、感染対策を十分に施しながら、各種会議、研修会を行ってまいりました。5月の第1回理事会は久しぶりの対面開催となり、各地区での活動の様子について理事から御報告がありました。7月の総会・研修会、12月の研究大会は、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催いたしました。with コロナの社会における会の在り方について、今後も工夫していきたいと考えております。

最後に、令和5年の11月8日から10日まで、宮崎市で開催されます、全国社会教育研究大会について御案内いたします。県内外から1000名の参加者が来県される予定で、全国各地の社会教育について優れた実践を学ぶ絶好の機会となります。そのために、本年度は実行委員会を7月、12月に開催し、準備を進めてきました。他県から来られた方が「宮崎に来てよかった」と思える大会にしたいと思っておりますので、皆様方のお力添えをよろしく願いいたします。



ハイブリッド開催！総会・研修会&研究大会

総会・研修会及び研究大会のオンライン開催に当たりまして、社会教育委員の皆様をはじめ、行政担当者、社会教育関係団体の皆様等、御協力いただきありがとうございました。お陰様で、7月の総会・研修会は63名（対面参加34名、オンライン参加29名）、12月の研究大会は159名（対面参加78名、オンライン参加81名）と多くの参加をいただきました。

総会・研修会では、県消費生活センターの松木孝仁様から御講演をいただきました。消費者教育や、クーリングオフ制度、悪質商法、未成年者の契約の取り消し等について具体的事例を示していただきながら、基本的な知識、注意点等を分かりやすく御講義いただきました。

研究大会では、大分大学の岡田正彦様から地域の絆をつなぐための、社会教育委員や社会教育行政の役割について御講義いただきました。特に、社会教育委員の役割として、資料を事前に読み、自分なりの考えをしっかりとった上で、より主体的に会議に臨むべきであるとの御示唆は、社会教育委員としての務めを改めて自覚するとともに、今後の活動への自信と励みとなりました。また、研究大会では、県社会教育委員会会議の提言について概要を説明させていただきました。今後の各市町村での社会教育の取組にぜひ生かしていただければ幸いです。

令和4年度 役員一覧

令和4年度 役員一覧		
会長	井崎 高信	県社会教育委員
副会長	吉村 功太郎	宮崎 (宮崎市)
	日高 広道	北部 (延岡市)
理事	服部 武彦	南那珂 (日南市)
	野崎 憲次	児湯 (高鍋町)
	浅井 俊博	北諸県 (三股町)
	西 誠	西諸県 (小林市)
監事	杉田 シゲ子	児湯 (川南町)
	楠元 ミヨ子	北諸県 (都城市)

お知らせ お願い

「社教情報」の購読を 今後ともよろしくお願ひします！

「社教情報」は、社会教育の担う役割や先進的な実践等、社会教育委員の関わりが分かる貴重な情報誌です。社会教育委員や関係者の「学び」のツールとして活用されており、「社教情報 No.87」は 208 冊の注文がありました。

ぜひ今後も御購読の上、御活用いただきますようお願いいたします。

現在、社教情報「社教情報 No.88」の注文を承っております。本県で令和 5 年に全国大会が開催されるため、今号では「開催地ぶらり旅」のコーナーで宮崎県の紹介を行っておりますので、ぜひご一読ください。



第 52 回九州ブロック社会教育 研究大会大分大会 84 名参加！

県社会教育委員会議 提言書手交

令和 4 年 10 月 6 日から 7 日にかけて、第 52 回九州ブロック社会教育大会大分大会が開催されました。本年度は対面とオンラインを併用したハイブリッド方式で開催されました。対面参加の分科会では九州各県の優れた実践を直に聞き、質疑や協議を行うことができ、大変有意義な大会となりました。

第 3 分科会では、宮崎市の本郷まちづくり推進委員会副会長の小倉俊二氏が、「ずいぶん先の人材育成～子ども達といっしょに楽しくまちづくり～」と題して分科会の実践発表を行っていただきました。子どもたちを巻き込みながら、地域に根ざした実践を発表いただき、参加された方々からも多くの賞賛の声をいただきました。

本県からは対面 32 名、オンライン 52 名、合計 84 名の参加申込がありました。多数の御参加ありがとうございました。

令和 4 年 12 月 23 日に県社会教育委員会議の提言書「生涯学習の視点に立った社会教育の在り方」を教育長に手交しました。

今回は、「地域ぐるみでつながる《連携・協働》」「学びを広げる《取組拡大》」「多様な価値観に気付き、行動する《啓発》」という 3 つの視点から提言しています。

今後「みやざき学び応援ネット」からダウンロードできるようにいたしますので、各市町村の社会教育の振興・発展のために、ぜひご一読ください。



手交の様子
(左より、井崎会長、黒木県教育長)

【全国社会教育委員連合表彰】

押田 明 様 (綾町)

受賞おめでとう ございます！



【県地域文化功労者表彰】

馬原 克久 様 (門川町)

岩切 邦光 様 (宮崎市)

特定非営利活動法人
のべおか天下一市民交流機構
(延岡市)

吉岡 喜徳 様 (新富町)

安在 一夫 様 (高千穂町)

谷頭相撲甚句踊り保存会
(都城市)

【県社会教育功労者及び社会教育優良団体・施設表彰】

(功労者)

寺田 美穂 様 (延岡市)

黒木 忠 様 (椎葉村)

野尻 泰弘 様 (高千穂町)

喜田 鉞子 様 (高千穂町)

今井 泰子 様 (宮崎市)

(団体・施設)

高千穂町立高千穂中学校 P T A 殿
(高千穂町)

宮崎県立門川高等学校 P T A 殿
(門川町)

日本ボーイスカウト宮崎連盟
都城第 1 団 殿 (都城市)

発行責任者 宮崎県社会教育委員連絡協議会事務局 (担当：坂尾)

TEL:0985-26-7245 FAX:0985-26-7342 E-mail:sakao-tomohiro@pref.miyazaki.lg.jp